



# JA いしかり

2019

2月号

Vol.359

JALLOP



12P

小さな農家の大きな夢 ~YUMEYASAI~

平成29年度新規親元就農者 波多野 夢子さん



# 地区別懇談会 意見集約



平成30年12月5日から7日まで開催された地区別懇談会にて組合員皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望等をまとめました。今後、各種事業計画等へ反映してまいります。



## 青果課

■胆振東部地震によりブラックアウトが発生し、ベジタブルファクトリーが停止し収穫中の野菜や予冷庫内の野菜に影響が出たので、今後は停電に対する対応も考えてほしい。

■冬期間の所得確保に向けて、冬期間出荷できる青果物を検討してほしい。

■青果物の販売先について、市場価格が低迷しても安定収入が確保できるように市場以外の販売先を拡大してほしい。

■市場価格低迷時の対応として、新たに予冷庫を新設し保存可能な品目は販売時期をずらすことで価格を維持できる等、生産者の手取りアップを考えて施設投資してほしい。

## 米麦課



■今年度のような天候不順により米麦が大きく減収した年でも平均収量を上回る生産者がいるので、その技術情報を優良事例として整理し生産者に広く教えてほしい。

■米麦乾燥調整施設について、将来を見据えて高反収時でもスムーズな受入ができるよう軽微な整備ではなく大幅な施設整備を考えてほしい。

■米の全道共計について、概算払い・中間払い・本精算と三段階の精算となっており最終的な精算単価がわかりにくいので、当年中に精算するなど米生産者がもっと励みになるような精算方法を検討してほしい。



## 農産振興課

■ お客様に割安感を出すために、現状の税込価格表示から税抜表示に変えてほしい。

■ 来年消費税10%になることから、レジスターや精算システム等の対応をしっかりとお願いします。

■ 来年消費税増税となりますので農協の手料を引き下げてほしい。

■ お客様の中には理不尽なクレームもありますので、とれのとれと側で上手に対応してほしい。

## 営農課

■ 新規就農希望者の研修受入農家側に対して、年間通して雇用しなければ国の助成金の対象にならないものもあるので、冬期間の雇用方法を考えてほしい。



■ 外国人技能実習生の雇用について、通年雇用できるように農業に限らず他産業を含めて受入できる仕組みづくりを行政に働きかけてほしい。

■ 今後のGAPに対して農協としてどう考えているか。

■ 以前はグリーンサポーターへのアンケートを行いその結果を我々利用者に伝えていただき、そういう考え方もあるのかととても役に立ちましたので、サポーターとより良い関係を保つために今後も継続してアンケートを実施してその内容を開示してほしい。

■ 繁忙期になるとグリーンサポーターの人数がどうしても少なくなるのはわかるが、出来る限り調整して対応してほしい。

■ JA女性部について、農協の宣伝隊としての役割と女性には農協を元気づける力があると思うので、農協を発展させるためにもJA女性部にもっと力を入れてほしい。

■ 鹿の被害について、対策として国の補助もある電気木柵設置があるが、野菜の場合は作付する畑が毎年変わるため都度の移動ができないので他の対応策はないか。

■ 花畔地区の営農団地はほとんど後継者がおらず、その対策について昨年度元説明会があったが、その後の進展はあるのか。

■ 45歳未満の新規就農者に給付される国の施策について、45歳以上の就農者に対しても給付されるように国に働きかけてほしい。

■ 多くの新規就農者は自己資金が少なく最初から設備投資ができない状況であり、道内の農協では研修中に独自の給付金を支給している事例を聞くので、当農協でも就農しやすい受入対策を考えてほしい。

■ 新規就農者へ支援金が支給されるからとその町を選んだが、いざ就農する際に購入できる農地がなくその町での就農を断念した事例を聞いた事があるので、せっかくの新規就農者なのでその町と石狩市が連携して対応できる仕組みを考えてみてはいかがか。

■ 新規就農者の中には経験が浅く栽培管理がまだできていない方が見受けられるので、一定レベルになるまで技術指導しなければならぬと思う。

## 資材課

■ 農薬価格について、商系業者は同じ商品でも農協の取りまとめ価格提示後にその価格を下回る価格で提示しているので農協も努力してほしい。

■ 台風と地震の被害が相当あったが、被害にあった組合員に対して資材の安価提供など対応は行ったのか。

## 燃料自動車課

■ 自動車販売に関して、購入ではなくリースでの需要が近年増えているように感じるが、保有台数が増えれば維持費もかかるので、今後、農協としても取り組んでほしいか。





# 青年部 全道大会で優秀賞受賞



12月6日～7日、第67回全道JA青年部大会が札幌パークホテルで開催されました。当JAから参加の12名を含み、全道各地から800名余りの青年部員が一同に集結し、「Exciting Innovation ～農力全開！～」の大会テーマのもと、永きにわたり受け継がれてきた大地と青年の情熱を次世代に繋いでいくために意思を結集させ、一丸となって今日の農業の課題に立ち向かうことを確認しました。また各盟友が日々の営農の中で感じた疑問や思いを議論し、よりよい営農のため更に前進することを誓いました。

「北海道めぐり王国Next」でおなじみの森結有花さんによる基調講演や各部門の能力向上を目指して行う分科会、農業や青年部等に関する将来への展望・意見提言を行う「全道JA青年の主張大会」、有志から募る「動画で発信！農の魅力コンテスト」、青年部で人一倍熱い情熱を持った盟友を選出する「純農Boyコンテスト」などを行い、それぞれに思いの丈をぶつけていました。



また、大会内で行われた「第44回全道JA青年部活動実績発表大会」では、各地区の代表が単位組織や地域への発展が期待される活動事例の発表を行いました。当JA青年部は石狩地区代表として、8年前から現在まで取り組んでいるサツマイモ事業について年度ごとの成果や反省点、今後の展望などをまとめ上げて発表し優秀賞を受賞しました。参加部員達の表情にも喜びの色があふれ、代表して山内克彦青年部長が北海道農協青年部協議会今野邦人会長より表彰を受けました。



# J A 石 青 協 海 外 視 察

in タイ



11月26日～30日、石狩地区農協青年部連絡協議会主催のタイ・バンコク方面への海外農業視察研修が行われ、当JAから北生振地区の熊倉聡さんと石青協より団長として高岡地区の増田崇紘さんが参加しました。

近年多くの産地で農産物の輸出拡大への戦略展開を進め、また外国人技能実習制度を活用した労働力確保にも注目が集まっており、外国人材の活用と農作物輸出の可能性を探ることを目的として各地区から総勢29名が集いました。

現地では、バンコク近郊のオーガニック野菜ファーム「チャームアン農場」でタイ独自の野菜栽培スタイルを見学し、地物市場「オーコートマーケット」では現地のマーケット調査、日系スーパーでは日本産農産物の価格動向を調査しました。

また、バンコク市内の外国人技能実習生送り出し機関との意見交換も行いました。所属している方は10～40代が多く、そのうちの6割が女性で、金銭面の条件が良い日本で家族のために働きたいという意気込みが強く感じられました。日常会話などの言葉の勉強や、タイとは全く異なる日本では当たり前前の常識（家に入るときには靴を脱ぐ、トイレ掃除や部屋掃除の仕方）などを学ぶ3ヶ月間のスクールでは、初級・中級・上級に分けられ、上級での卒業が日本への派遣の条件で、スクール入会にも大金を投資しているため必死な姿がとても印象的でした。

参加者の熊倉さんは「タイの実習生は、まださほど日本に入ってきていなく、お会いした方々の熱意もすごかったので外国人労働力としての可能性を非常に感じました。また、ふだん他市町村の青年部仲間とじっくり話す機会はあまり無く、この研修で寝食を共にする中で多くの方と親しくなる事が出来ました。期間中に、石狩でやっていない他地区の栽培技術等を聞いてとても勉強になり、仲間づくりも出来て良かった！！」と話し、同じく増田さんは「研修期間中に色々な話をする中で自分の課題が解決できることもあり、参加者からヒントをもらえることもある。研修が終わっても相談でき、今後の営農の糧になるし、仲間の輪を広げるチャンスなので是非オススメです。堅苦しいことばかりではなく楽しいことも沢山盛り込まれており、管内部員の交流が深まるのでみんなにも是非参加してほしいと思います。」と話してくれました。



▲増田崇紘団長



▲熊倉聡さん





話題の

# 自動操舵システム

を体感



12月3日、日本ニューホランド(株)によるトラクター説明会ならびに試乗会が高岡地区の増田崇紘さんの圃場で行われ、約30名が集まりました。

今回紹介されたトラクターは、テレビドラマの「下町ロケット」でも話題となり近年注目を浴びている自動操舵システムを搭載したもので、速度の加減や転回を正確に行い、走行のズレや傾きなどを自動で補足して修正することが可能な最新機種です。

動画を用いた説明と意見交換では大変な盛り上がりを見せ、試乗会では、おのおのが最新機器の性能を十分に堪能し「近年の農業機械はスゴイ!」「どんどん進化している!!」という感想があちこちで聞かれました。





# トレーナーとの 二人三脚からの

## 巣立ち



1月11日、平成30年度の新採用職員教育制度報告会を開催しました。

この制度は新採用職員の業務の不安を取り除き、いち早く職場に適應できることを目的に先進JAを参考に3年前から導入したもので、現在、道内でこの取組をしているJAはまだごくわずかです。それ以前は、各部署による業務知識の習得とJAカレッジ研修による人材育成がほとんどでしたが、制度導入後は、きめ細やかなフォロー体制を充実させました。新採用職員に直属の先輩がトレーナー（指導者）として付き、業務スキルやノウハウの習得といった従来からの職場内教育に加え、社会人としての心構え・プライベートの相談など公私にわたるアドバイスを通じて良好な関係を築くことに重点を置いています。



▲成田 大樹  
トレーナー

共済課推進係  
瀬能 憲吾 職員



月次目標を立て、それに向かった行動や経過を記入し、業務上の疑問点や反省点などをトレーナーと書面でも毎日やりとりした中で、上司からコメントをもらいます。改めて時間をもって検証することで気づきも多く、また、トレーナーは当制度を通じて初めて後輩（部下）指導を担うものが大半で、新人職員と共に学ぶことでトレーナー自身も業務の再確認と自身の成長に繋がるという側面もあります。

金融課 金融係  
佐々木 莉子 職員



▲藤井 友里  
トレーナー

12月末までを振り返り、佐々木職員は「月ごとに目標を立て達成できたかどうかを振り返り、前月からこんなにも成長できたという実感がわき自信に繋がりました」と、瀬能職員は「日々の行動を記すことで、何を思いどう行動したかを確認できモチベーションアップに繋がり、目標を達成するために危機感を持つことができて良かったです。」と発表し、各トレーナーから激励の言葉が贈られました。







## お仕事体験イベントで 希少米『ゆきさやか』をPR

1月12日〜13日、「キッズジョブタウン2019 in さつぽろファクトリー」が開催され、地物市場とれのさとがお仕事体験ブースを出店して希少な石狩産米の「ゆきさやか」をPRしました。

これは、年少から小学6年生までが対象で、ファクトリー内の店舗や協賛企業約30店でお仕事を体験しながら責任感や達成感を感じて子どもが成長するといふもので、各店舗が設定した内容を各自で選び、ハンパーガーの組み立てや接客、清掃などを体験していました。また、ハーバリウムやアクセサリーなどの制作ができるキッズクラフトタウンとスタンプラリーも同時開催しており、多くの家族連れで賑わっていました。

当JAのブースでは「ゆきさやか」の試食とキューブ状にパッケージしたお米の販売を1日5組の15名、二日間合計30名に体験してもらいました。ピンク色のオリジナルスタップTシャツを来た子ども達が、はにかみながらも懸命に働き、お仕事体験後には、ちよっぴり大人になっていました。



## ロールプレイング訓練で スキルアップ☆

12月7日、ホクレン主催によるSS事故クレーム対応訓練が北農ビルで開催され、当JAからは燃料自動車の平松桐人係長と池田恵太職員が参加しました。

これは、クレーム発生時の迅速な判断と対応による顧客満足度アップと担当職員のスキルアップを目的としたもので、全道の農協SS職員とホクレン油機サー

ロールプレイングに取り組む  
池田職員



ビス職員を対象に行われました。

事故やクレームは、全く同じ事案が発生しないためにマニュアルでの対策が難しいものです。基本的な基礎知識やトランプル事例等を学んだ後、実際に事故やクレームが発生した際の演習や参加者同士のロールプレイングで慎重な聞き取りと迅速な対応を訓練しました。





## 役員OB会 総会開催

12月11日、第29回JAいしかり役員OB会総会が茨戸ガーデンで開催され15名の会員が出席しました。伊藤英雄会長の挨拶で開会し、各議案の承認とJAの各事業の現況報告がされました。

総会終了後の懇親会では、久しぶりに再会した会員同士で今年度を振り返ったり、役員時代の話に花が咲くなど楽しい時間を過ごしました。



伊藤英雄会長

## 平成31年度

## 営農計画書作成

1月15日～24日、平成31年度営農計画書作成受付を実施しました。

本年も営農計画を樹立する時期となり、この機会にじっくりと営農に対する基本方針を立てる事が非常に重要であります。各生産物の生産性向上や価格変動、気象条件による危険分散も含め考慮して作付品目などを計画し、費用では前年度の実績を振り返り、肥料、農薬などの生産資材の



効率利用、コスト低減と経費の節約に努めるよう話し合い、個々の経営に合った実現可能な計画であるか審査の上作成しました。今年も組合員の皆様が計画以上の実績を達成できるようサポートしてまいります。

営農計画書作成後に作付品目や面積などに変更がある方は、随時営農課までご連絡ください。



## 理事会だより

第11回 定例理事会 ～平成30年12月14日～



### ■ 報告事項 ■

- 1) 営農経済委員会報告について
- 2) 農産物出荷状況等報告
- 3) 平成29年産米穀共同計算精算結果について
- 4) ホクレン災害対策見舞金に係るJA災害見舞金支出基準の制定について
- 5) 役員選任推薦委員の届出について
- 6) 石狩市新年交礼会の開催について
- 7) 今後の行事予定について
- 8) 職員の退職について
- 9) 農業委員会総会について

### ■ 審議事項 ■

- 1) 第3四半期自治監査結果について
- 2) 貸付金の申込み査定について
- 3) 共済規程の一部改正について
- 4) 規約付属書監事監査規程の一部改正について
- 5) 営農計画に係る審査方針・基準について

### ■ 協議事項 ■

- 1) 地区別懇談会意見集約について

## 今月の表紙紹介

～撮影オフショット～

今月の表紙は、花畔地区正組合員でもある千歩武智せんふたけち嘱託職員です。冬期間は除雪や排雪作業を担い、春は資材課、夏から秋は米麦課とそれぞれの繁忙期に各部署で力を発揮しています。悪天候が続く中、一瞬の晴れ間を縫っての撮影でした。



▲最近のマイブームはスポーツ観戦。大坂なおみ選手が世界ランク1位になり「世界のテニス人口、約2億人のトップはスゴいよね～」とテニスの面白さを知ったそう。



▲時折、石狩特有の強風が冷たく吹き付ける中、快く撮影に応じてくれました。とっても人当たりが良い千歩さん。呼びかける姿もおちゃめです☆



◀この日のタイヤショベルは青木恒夫嘱託職員。荷台が満杯になった時はクラクションの合図で発車……息ピッタリです。

大雪や吹雪にも負けず、安全運転で排雪に向かうトラックの運転中。積雪が邪魔にならないように、縁の下の力持ちとして日々頑張っています。





平成31年度

## 農事組合長名簿

地区	農事組合	氏名
石狩	五の沢	岩本 道則
	高岡第5	小林 孝和
	高岡第4	増田 正人
	高岡第3	蓮田 博
	高岡第2	平野 貴久
	高岡第1	小池 裕明
	美登位	雉子谷 幸一郎
	北生振	須藤 聖治
	大曲	清野 和彦
花畔	花畔北区	田中 晴美
	花畔農住	加藤 英道
	花畔中央	長谷川 肅

地区	農事組合	氏名
花畔	新道	溝渕 正一
	上組	伊藤 康雄
	南線協栄	鳴海 守一
	樽川	赤山 義孝
生振	第1組合	上谷 茂幸
	第2組合	鈴木 和雄
	第3組合	関戸 勝也
	第4組合	阿部 康夫
	第5組合	中田 守
	第6組合	中田 清吉
	第7組合	吉野 捷治
	第8組合	赤尾 金一

(敬称略)

## 各種資格試験合格者

平成30年度各種資格試験に下記の通り合格しました。

今後も職員資格認定試験・担当部署で必要な資格試験はもちろんのこと、組合員の営農・生活に役立つ資格取得のため積極的に取り組みます。

### 農協資格認定試験合格者

種類	氏名	役職
農協内部監査士	石崎 敏司	総務部長
特級	細川 航	燃料自動車課長
初級	瀬能 憲吾	共済課推進係
初級	佐々木 莉子	金融課金融係

### 各種資格取得者

種類	氏名	役職
毒物劇物取扱主任者	藤井 友里	金融係
毒物劇物取扱主任者	佐々木 莉子	金融係
危険物取扱主任者(乙四)	池田 恵太	燃料自動車係
危険物取扱主任者(乙四)	寒河江 耕平	営農係
危険物取扱主任者(乙四)	梶 亮太	青果係
危険物取扱主任者(乙四)	千田 翔太	資材係

## 人事異動のお知らせ

### 1月7日付人事異動

- ◆金融共済部長兼共済課長兼花畔支店長 (前 金融共済部長兼花畔支店長) **大江 徹**
- ◆金融共済部金融共済課長：本店 (前 金融共済部共済課長：花畔支店) **佐々木 淳**
- ◆金融共済部金融課考査役：花畔支店 (前 金融共済部金融課長：花畔支店) **加藤 浩光**
- ◆金融共済部金融課長：花畔支店 (前 金融共済部金融共済課長：本店) **村上 知立**

### おくやみ

石狩地区 高岡第1 **引野 英子** さん  
享年86歳 平成30年12月24日逝去

石狩地区 高岡第3 **中東 浩二** さん  
享年86歳 平成30年12月24日逝去

花畔地区 樽川 **和佐 俊明** さん  
享年87歳 平成31年1月8日逝去

生振地区 第7組合 **竹内 キヨノ** さん  
享年99歳 平成31年1月10日逝去

生振地区 第5組合 **島谷 ヨリ子** さん  
享年80歳 平成31年1月16日逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。





波多野 夢子  
 Yumeko Hatano (23)

アカウント  
 @yumeyasai

小さな農家の大きな夢  
 ~YUMEYASAI~



yumeyasai

2018.4.19 この日大量に人参の収穫をしました!! 立派な人参が土の中から出てくる中、とっても大きな人参が掘れました! 重たかったです!! 全部掘ってからわかりましたが、作業中に撮ったこの人参が1番大きかったです♥夢いっぱい大きく育った人参を、その翌日大谷地で開催された『春祭り手作りマルシェ』で詰め放題で販売しました☆彡

#YUMEYASAI #人参 #大きい #越冬 #農作業 #ゆめやさい #石狩農業女子 #2018年 #春 #4月 #農業女子 #北海道 #石狩 #農業 #3代目 #こだわり #愛情たっぷり #旬 #野菜 #新鮮 #採れたて #美味しい #Hokkaido #Agriculture #Vegetables

SNS(インターネットを使って人々と交流できるサービスの総称)で見た場合のイメージで作成しています☆